

# 官民連携による民間の産業人材育成 —JICAとAOTSの支援傾向比較—

山田肖子(名古屋大学)  
島津侑希(名古屋大学)  
辻本温史(JICA研究所)

# はじめに

## なぜ民間か？

- 開発途上国の産業人材育成は日本の民間が貢献してきた部分も大きい(官民連携)
- JICAの事業が拡大する以前から、多くの団体が産業人材育成を実施

## なぜAOTS(海外産業人材育成協会)か？

- 他機関と比較して事業規模が格段に大きく、産業人材育成分野で多くの実績を残してきた
- 事業の歴史を、JICAを通じた産業人材育成とほぼ並行して1950年代末まで遡ることができる

# 目次

1. AOTS団体概要
2. JICAとAOTSの支援傾向比較
3. AOTSの事業に影響を与えた要因の考察
4. まとめ

# 1. AOTS団体概要(1)

民間のニーズにより、通産省の認可を得て  
設立された日本最大の民間技術協力機関

【名称】 一般財団法人海外産業人材育成協会  
The **A**ssociation for **O**verseas **T**echnical  
Cooperation and **S**ustainable Partnerships

【設立】 1959年8月10日

【目的】 産業国際化の推進、貿易の振興、投資活動の  
促進および国際経済協力に関する事業を行い、  
もって日本と海外諸国の相互の経済発展および  
友好関係の増進に寄与する。

# 1. AOTS団体概要(2)

## 設立の背景

産業界 & 通商産業省

日本の輸出振興

日本企業の海外進出支援

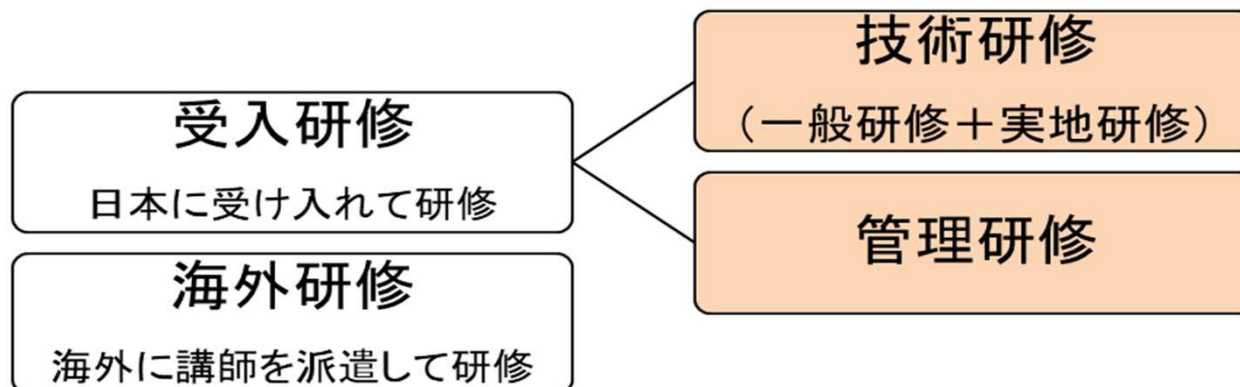


アジア学生文化協会

アジア諸国との  
友好関係構築

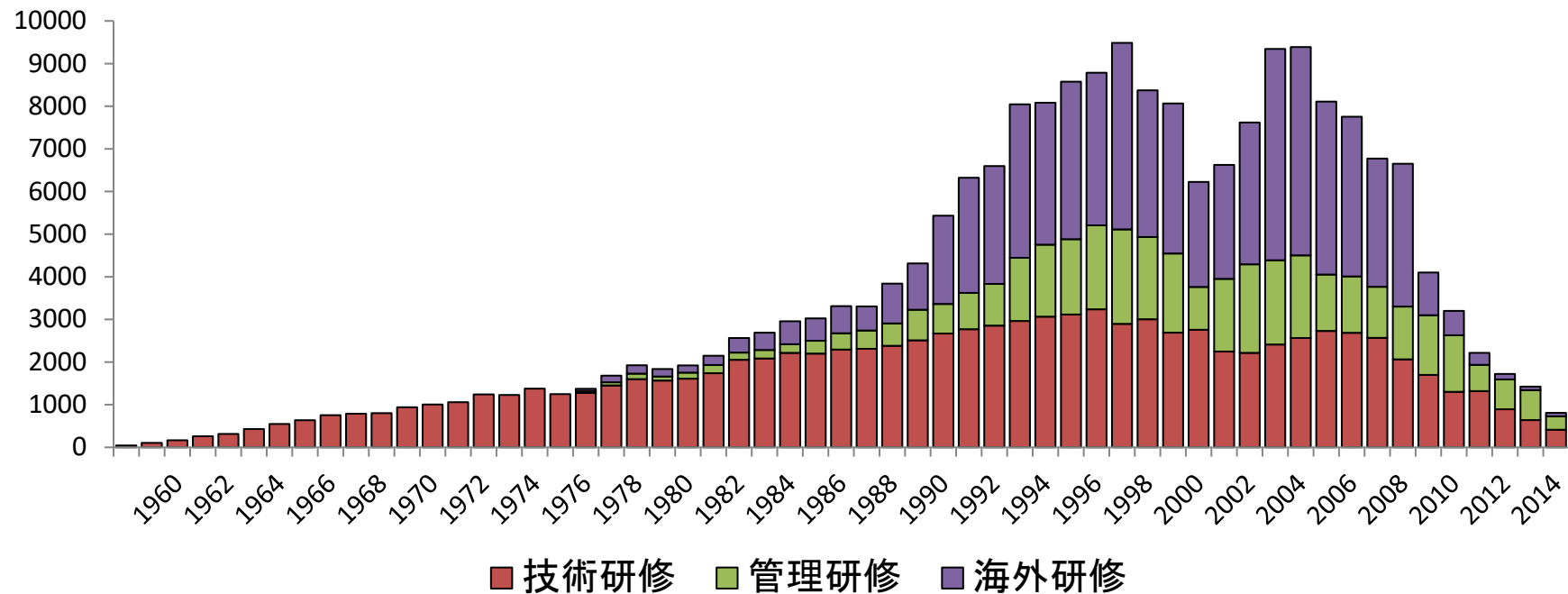
## AOTSの事業内容

- 研修、専門家派遣、インターン派遣、現地調査など
- 今回は設立当初から続く研修事業に焦点を当てる



# 1. AOTS団体概要(3)

## 技術研修、管理研修、海外研修への参加者数



- 全体数は1990年代後半と2000年代中頃にピークを迎える。
- 技術研修は1990年代がピークであった。

# 1. AOTS団体概要(4)

## AOTS同窓会によるネットワーク構築

 世界44か国・地域73か所に繋がるネットワーク



**メキシコ同窓会**



企業向けに品質管理  
コンサルティングを実施

**マレーシア同窓会**



エジプト人研修生を招いて  
ロジスティクス研修を実施

**エジプト同窓会**



インドから専門家を招き、  
TOMのための業績管理  
システム研修を実施

**インド・デリー同窓会**



品質経営セミナーを実施  
(前列中央は  
安倍晋三内閣総理大臣)

**ベトナム同窓会**



SS・Kaizenの研修を実施

**ペルー同窓会**



産業界、大学と連携して  
品質管理セミナーを実施



**World Network of Friendship (WNF)**  
AOTS同窓会間の研修生相互交換

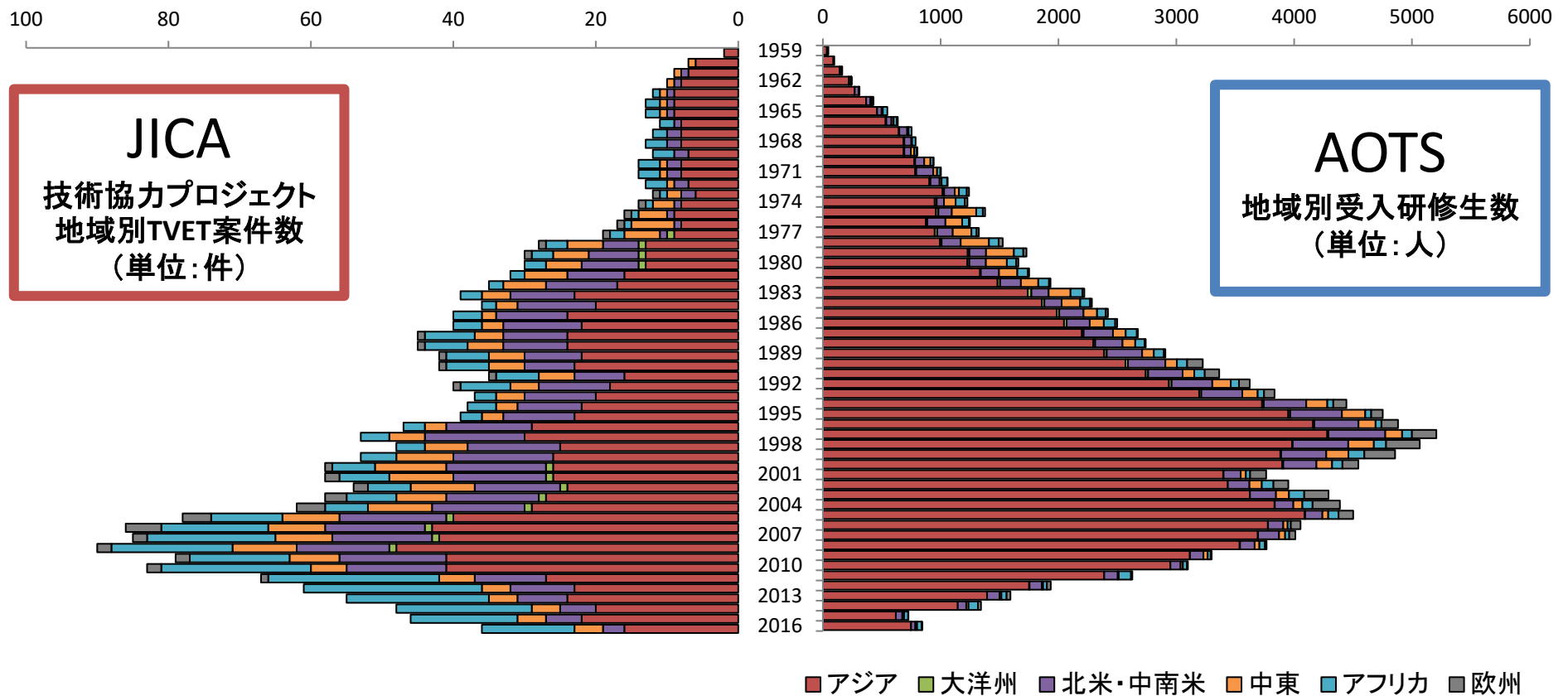


**泰日工業大学**  
AOTS同窓生と  
元日本留学生が  
中心となり開校

研修生受入とは別の形で  
途上国の人材育成に貢献

## 2. JICAとAOTSの支援傾向比較

### ① 地域傾向

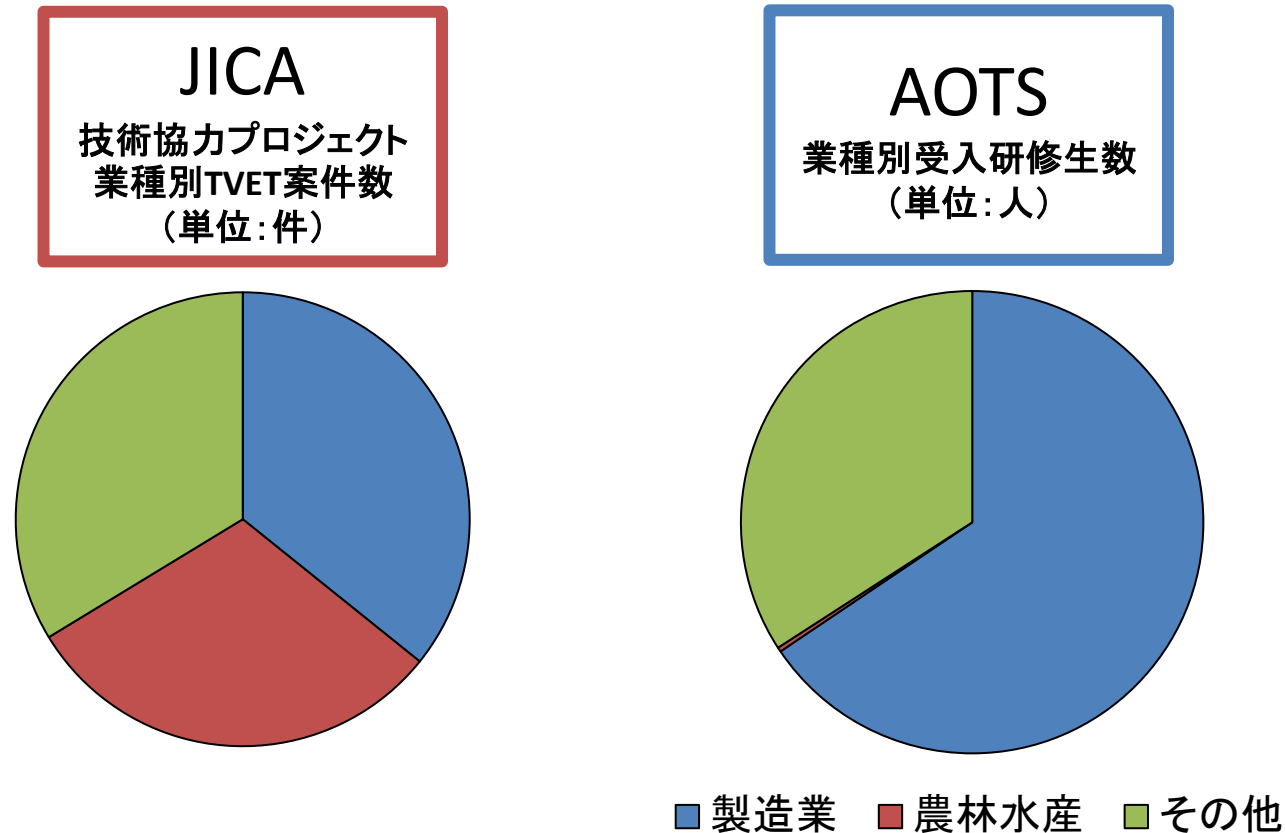


- JICAはアジア中心の支援から中東や北米・中南米が増加。近年はアフリカへの支援が増加。幅広い地域をカバーしている。
- AOTSはアジア集中型。近年は一層アジア重視の傾向。



## 2. JICAとAOTSの支援傾向比較

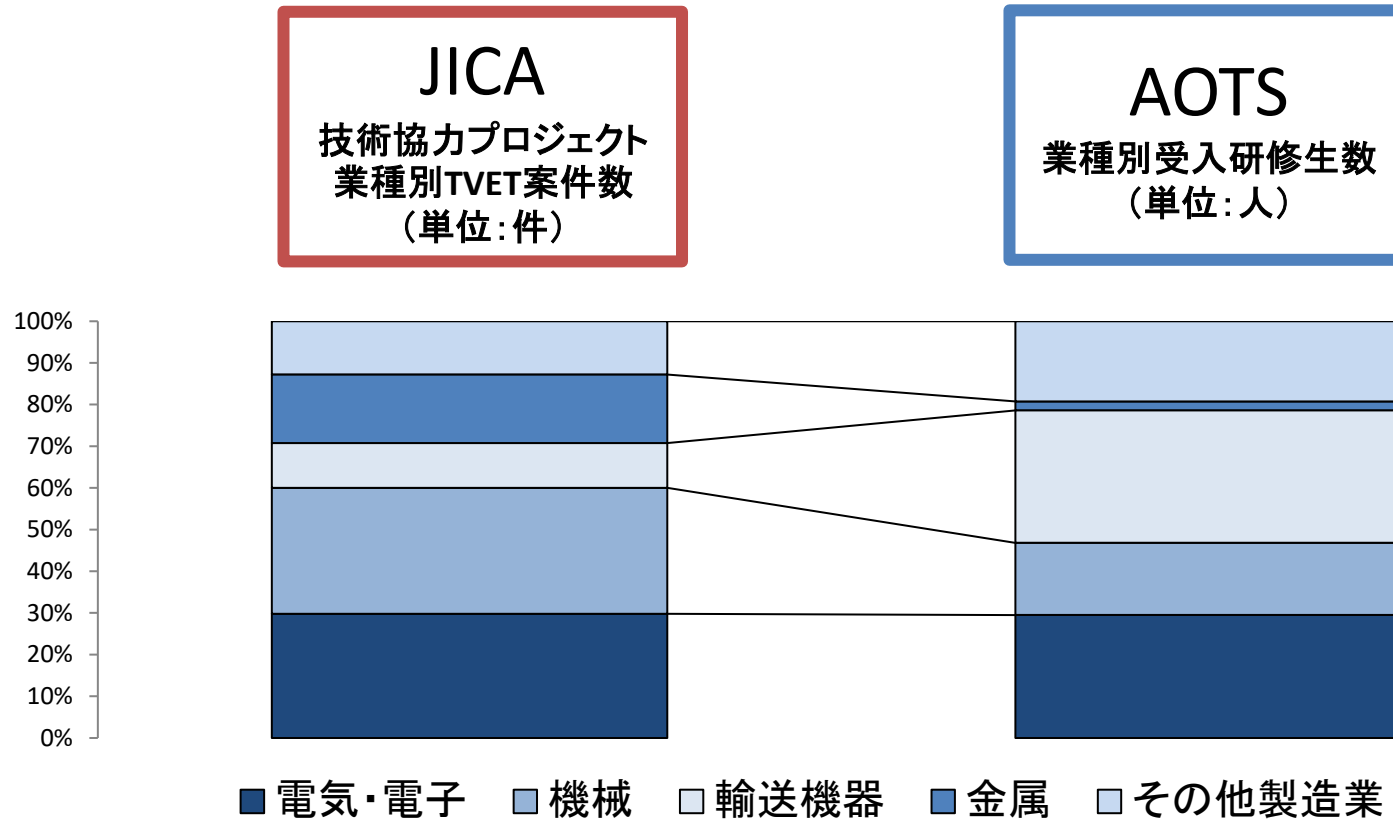
### ② 業種傾向



- JICAは「製造業」「農林水産」「その他」がほぼ同じ割合。
- AOTSは**製造業重視型**であり、「その他」の約半数も経営・生産管理や品質管理である。

## 2. JICAとAOTSの支援傾向比較

### ② 業種傾向



- JICAは産業人材の底上げのための**基礎的な技術分野**を重視
- AOTSは企業の専門分野に直結する**実用的な技術分野**を重視  
(同じ「電気・電子」でもAOTSは自動車用の電装品や半導体など)

## 2. JICAとAOTSの支援傾向比較

	JICA	AOTS
地域傾向	<ul style="list-style-type: none"><li>アジアは4～6割</li><li>中東や北米・中南米も一定の割合で存在</li><li>近年ではアフリカが急増</li></ul> <p>幅広い地域をカバー</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>アジアが7～9割</li><li>近年ではさらにアジアへ集中する傾向</li></ul> <p>アジア集中型</p>
業種傾向	<ul style="list-style-type: none"><li>製造業、農林水産が同程度の割合</li><li>「その他」には経営・生産管理、中小企業診断、物流、貿易、観光、研究、業種不特定の訓練運営が含まれる</li><li>製造業では電気・電子、機械が多い</li></ul> <p>様々な分野の基礎的技術</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>製造業が6割以上を占める</li><li>農林水産分野はほぼ無い</li><li>「その他」の約半数は経営・生産管理、品質管理など</li><li>製造業では電気・電子、輸送機械が多い</li></ul> <p>特定分野の実用的技術</p>

AOTSの設立背景： 日本製品の輸出振興 および 日本企業の海外進出支援

- 日本企業が多く進出しているアジアを対象とする
- 自動車関係の製造業のニーズに合った技術分野を対象とする

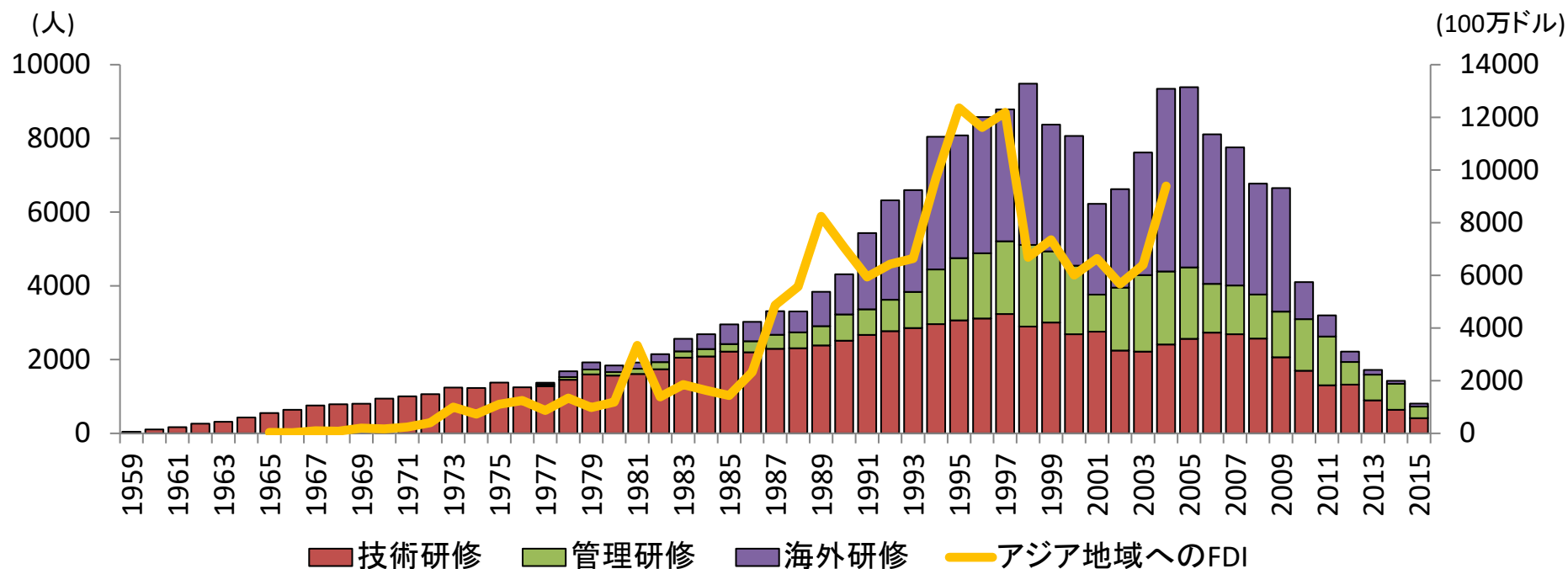
### 3. AOTSの事業に影響を与えた要因の考察

さらに…

- JICAは2000年代後半～2010年代初めに案件数がピークになるが、AOTSは **1990年代後半** と **2000年代中頃** にピークを迎える。
- AOTSの技術研修は1990年代がピークであった。

JICAの事業には国際潮流と日本の政策が影響していたが、AOTSには他の要因も影響している可能性が大きい。

### 3. AOTSの事業に影響を与えた要因の考察

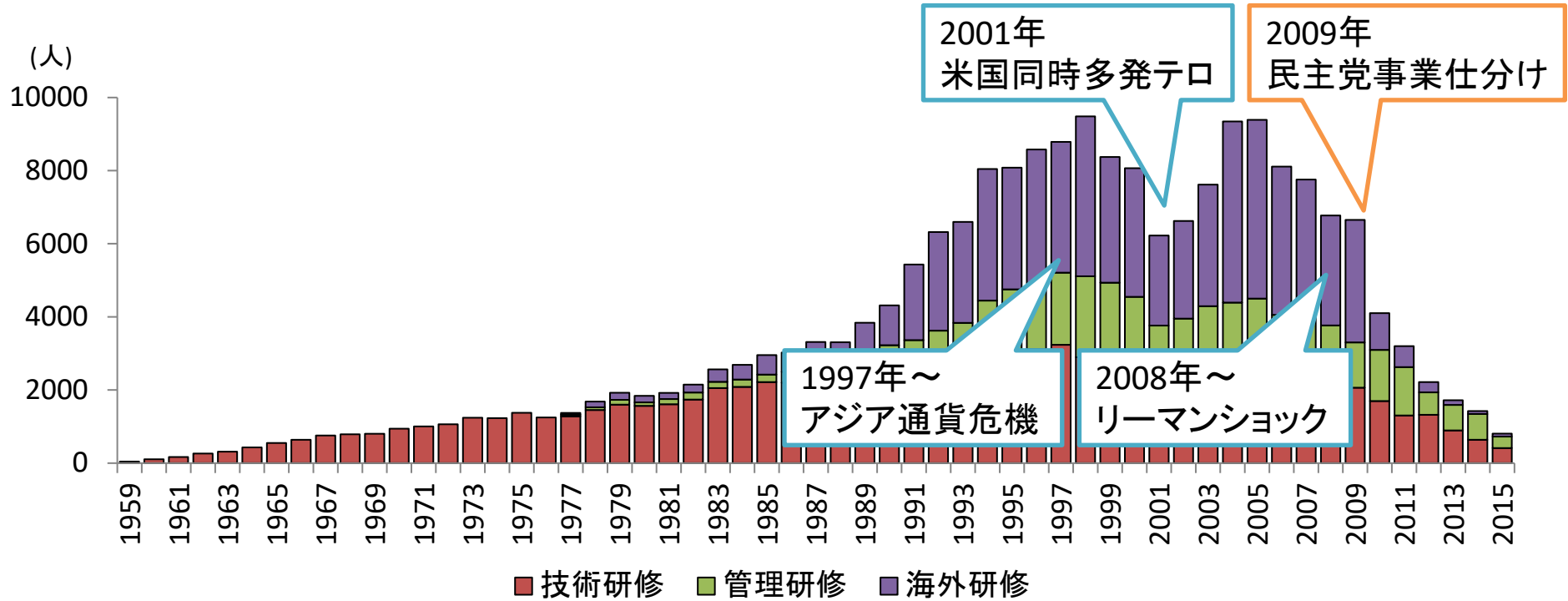


#### アジアへの直接投資(FDI)と数年遅れで一致

多くは製造業の生産拠点の設立またはそれに伴うインフラ整備に関連している

- 海外進出した製造業系の企業から現地人材の育成ニーズが高まる
- 製造業重視で事業展開を行ってきたAOTSが研修を実施する
- 近年では「製造」から「品質管理」「経営」へニーズが移行

### 3. AOTSの事業に影響を与えた要因の考察



FDIと一致するということは...

#### アジア進出している日本企業の経営・動向に影響する事象が関係する

※アジア通貨危機後には「アジア緊急支援研修生受入事業(1998)」や「緊急経済対策支援事業(1999)」などを実施することで、現地の日本企業を支援した。

また、官民連携で研修を実施しているため...

経済産業省の政策や行政の予算配分の影響も受けている

## 4. まとめ

- AOTSは日本企業と共に研修を作り上げてきた
  - 近年は研修生受入とは別の形で途上国の人材育成に貢献している
  - アジア通貨危機後などには単年度の受入事業を行うなど、現地の日本企業を通して、途上国の人々を支援してきた
- 企業からの人材ニーズに従ってAOTSの研修内容も変化
  - 「日本製品の操作や保守」ができる技術者育成
  - 「製造」に携わることができる人材育成
  - 「品質管理」や「経営」に関する知識を持った人材育成
- 公的セクター（JICA）と民間セクター（AOTS）は補い合う関係性
  - JICA: 様々な産業に発展する可能性のある幅広い技術分野において現地の産業人材の底上げに貢献
  - AOTS: 海外進出した日本企業の専門分野に直結する実用的な技術の伝承に貢献（主に自動車などの製造業）